

GREEN RANGER NEWS

2022 年 10 月号 Vol.342



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■9月の活動報告

9月11日(日) [全観察路を歩き、同種が集中している場所を探し地図に記す(1/2)]

貴重な晴れ間、梅雨は明けていたのかいなかったのか、とにかく嬉しい。今日の題名は長いが、2015年に「森づくり自然園の観察路」を作成した時のスポットを再調査して追加・見直すことらしい。それからたった7年だが、植林木の成長は早く、それぞれの草木も住む場所を決め、その風景は、はるか蔵王山の噴火で降り注いだであろう岩もただの岩に見えなくなっている。木々もそれぞれの試練を樹形などで表現し、その下で支えてくれた草たちも棲み処を見つけているのではないだろうか。そんな場所の調査を、今日と次回25日にも行う。



調査中

午後、その植林地をドローンで空撮していただいた動画と静止画を観る。今年、木々の根元の雪が融け始める根開きの季節3月と緑濃い8月の映像である。地上でしか見たことのない植林地、空から見ると、まさに天と地である。普段歩いては目をつむってもと思うが、空から見ると作業小屋しかすぐには分からない。どこが境界線か、しかも4つの森に分かれているので広いのか狭いのか。区域を判別するには冬版で、森になった満足感は夏版か、感動しました。ドローン撮影をしていただき、ありがとうございました。参加者:11名

9月25日(日) [全観察路を歩き、同種が集中している場所を探し地図に記す(2/2)]

台風などの被害の多いこの頃、貴重な晴れ間となり、急遽リスの森の間伐に予定変更。久々にチェーンソーが呻る。わずかな木漏れ日におが屑が虹の様に煌めき、根粒菌をもつヤマハンノキが倒れて行く。「お前たち、冷たい奴だな」と言われてるんじゃないかと思いつきながら枝処理をする。今まで助けてくれてありがとう。おかげでこんな立派な林になり、さらに陽を浴びて成長して行く広葉樹を今後も見守っていきます。間伐や自然に倒れたヤマハンノキは、工作やストーブの薪に使わせてもらったり土に還ったり、まだまだ地球や生き物の役に立って行きます。



ヤマハンノキ間伐、リスの森

午後、観察動画でアオゲラの水浴びを初めて観る。また、こちらも初めて、クロツグミ、ヨーロッパ

の black bird に匹敵する日本の代表的な歌鳥だとか、鳴き声は聞けなかったがご夫婦で餌を啄んでいる。それに付け加え、突然皮だけになったアケビの実を持ってきて、テンか何か、綺麗に中身を食べている、そこにカメラを設定しようとの提案あり、ミツバアケビがカメラのターゲットになる。各人それぞれどの動物がきれいに食べるか、名をあげて待つことに。カメラの責任は重い、せめて何か次回までに撮れてほしい、その方が心配。 参加者:6名



アケビ、リンドウ

■今後の活動案内

[例会]

日 時 10月9日(日)10時
場 所 作業小屋
内 容 ヤマハンノキ間伐、自然観察

[例会]

日 時 10月23日(日)10時
場 所 作業小屋
内 容 ヤマハンノキ間伐、自然観察